

移動式粉末(第3種)消火設備

YDA-75CA-K型

(YDA-75CB-K型)

ヤマトスロテック株式会社

本仕様書は、移動式粉末(第3種)消火設備(YDA-75CA-K)について規定します。

1. 対象物名称

2. 同上所在地

3. 概 要

防護区画内の火災発生時、直近の移動式粉末消火設備を手動により操作し、
粉末消火薬剤を放出させ消火するものです。

4. 消 火 設 備

① 型 式

移動式粉末(第3種)消火設備(二酸化炭素ガス加圧式)

YDA-75CA-K型 (型式記号:YDA-75CB-K型)

認定番号 C-481号(財・日本消防設備安全センター認定品)

② 設計準拠法規及び規格

(イ) 消防法施行令、施行規則、各都市等の条例によります。

(ロ) 高圧ガス保安法、日本工業規格(JIS)

③ 粉末消火薬剤量

YDA-75CA-K 1基に対し ABC粉末33kg

④ 基 数

消防法によりYDA-75CA-Kの設置基数は、防護対象の各部分からの水平距離が
15m以内となるよう1基ずつ分散設置します。

階	室名	基数
---	----	----

⑤ 配 置

添付図面の通りです。

移動式粉末消火設備 YDA-75CA-K

1. 目的

本消火設備は、屋内・屋外駐車場、自動車整備工場、飛行機格納庫、飛行機整備工場、電気室等、その他、油・電気火災を対象とする場所に設置し、これらの対象物を有効に防護するものです。

2. 構成

本設備は、粉末貯蔵タンク・加圧用ガス容器・ホース・ノズル・クリーニング用ガス容器・格納箱から構成されており、加圧用ガス容器に充填された二酸化炭素ガスを粉末貯蔵タンク内に導入し、そのガス圧力により粉末消火薬剤をホース先端のノズルより放射するものです。

① 概要

全高	1,212mm
最大巾	290mm
奥行	350mm
総質量	約85kg

◎ 前面扉上部に表示灯を標準仕様として取り付けています。

② 粉末貯蔵タンク

全高	約1,027mm
外径	φ234mm
内容積	36L
消火薬剤充填量	ABC粉末 33kg
耐圧試験圧力値	2.99MPa
安全装置	3.04MPa

◎ タンクは十分な耐圧強度を有し、タンク外面には連結した継手、放出弁レバー、クリーニング回路、安全装置などが取り付けられており、排気、クリーニング操作ができます。

③ 加圧用ガス容器

規格	ガス容器は、JIS規格に合格し、高圧ガス保安法に適合されたものを使用。
容量	1.0L×1本
ガス量	660g(二酸化炭素ガス)

④ クリーニング用ガス容器

規格	ガス容器は、JIS規格に合格し、高圧ガス保安法に適合されたものを使用。
容量	1.0L×1本
ガス量	660g(二酸化炭素ガス)

⑤ 放出弁	
型式記号	FSM-295
型式認定番号	DV-007号(財・日本消防設備安全センター認定品)
呼び径	15A
耐圧試験圧力値	3.32MPa

⑥ ホース及びノズル	
ホース	長さ 20m 内径 12.7mm 外径 21.0mm
ノズル	口径 8.0mm 蝶ハンドル(コック)開閉式

3. 放射性能

ホース先端に取り付けられたノズルにより放射するもので、次の性能を有しています。

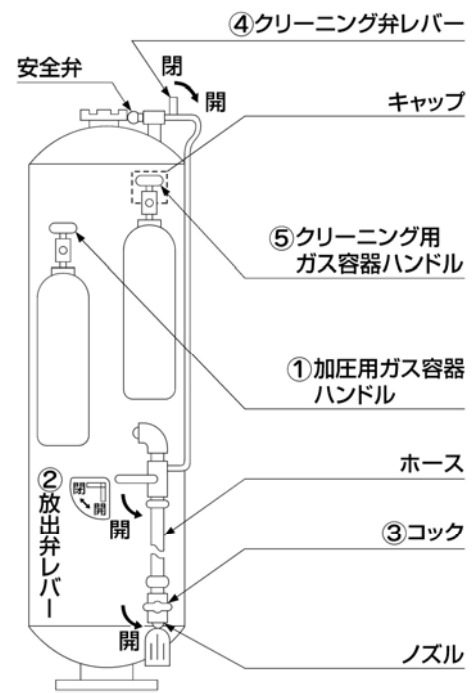
放射量	29.0 kg/min
有効放射時間	約67秒
放射距離	8~10m

4. 設置上の注意事項

- (1) ①加圧用ガス容器ハンドル(黄色)が閉じていることを確認してください。
- (2) ②放出弁レバーが『閉』になっていることを確認してください。
- (3) ノズルの③コックが『閉』になっていることを確認してください。
- (4) ④クリーニング弁レバーが『閉』になっていることを確認してください。

5. 使用方法

- (1) ①加圧用ガス容器ハンドルを左(全開)に回す。
- (2) ②放出弁レバーを『開』の位置に下げる。
- (3) ノズルを持ちホースを取り出し、ノズルの③コックを全開して、火の根元を掃くように消火する。



6. 使用後の処理

- (1) 各コック、ハンドル、レバーを元の位置にしてください。

1. 消火後、ノズルのコックを右に回して閉じてください。
2. 加圧用ガス容器のハンドルを右に回して閉じてください。
3. 放出弁レバーを「閉」の位置にしてください。

- (2) 排気操作を行ってください。

1. クリーニング弁レバーを「開」の位置にしてください。
2. ノズルのコックを左に回して開け、粉末貯蔵タンク内の残留ガスを排気してください。
3. クリーニング弁レバーを「閉」の位置にし、ノズルのコックを右に回して閉じてください。

- (3) クリーニング操作(排気操作後)を行ってください。

1. クリーニング用ガス容器のキャップをはずし、ハンドルを左に回して開けてください。
2. クリーニング弁レバーを「開」の位置にしてください。
3. ノズルのコックを左に回して開け、ホース内の粉末消火薬剤を完全に放出してください。
4. クリーニング用ガス容器のハンドルを右に回して閉じてください。
5. クリーニング弁レバーを「閉」の位置にし、ノズルのコックを右に回して閉じてください。

- (4) 再充てんは必ず有資格者によって行ってください。

- 二酸化炭素ガスおよび粉末消火薬剤の充てん後は「設置時の注意」を確認してください。

※お求めになった販売店などの専門業者か当社営業所に詰め替えを依頼してください。

- (5) ガス容器を廃棄する場合は、必ず販売店か製造元にご相談ください。

- 古くなったからといって勝手に捨てるのは危険です。絶対に捨てないでください。

粉 末 消 火 薬 剤 仕 様 書

国家検定合格品（日本消防検定協会）

消火薬剤 項 目	粉末(ABC)消火薬剤
型式番号	型式番号 薬第 57～8号
組 成	リン酸二水素アンモニウム 96% 流動性賦与剤および防湿剤等 4%
外 観	淡紅色微粉末
粒 度	180マイクロメートル 99.0%以上通過
見 掛 の 比 重	0.87±0.2
沈 降 (水 面 散 布)	1時間以内に沈降しない
吸 湿 性	2%以下
適 応 火 災	普通火災・油火災・電気火災
備 考	

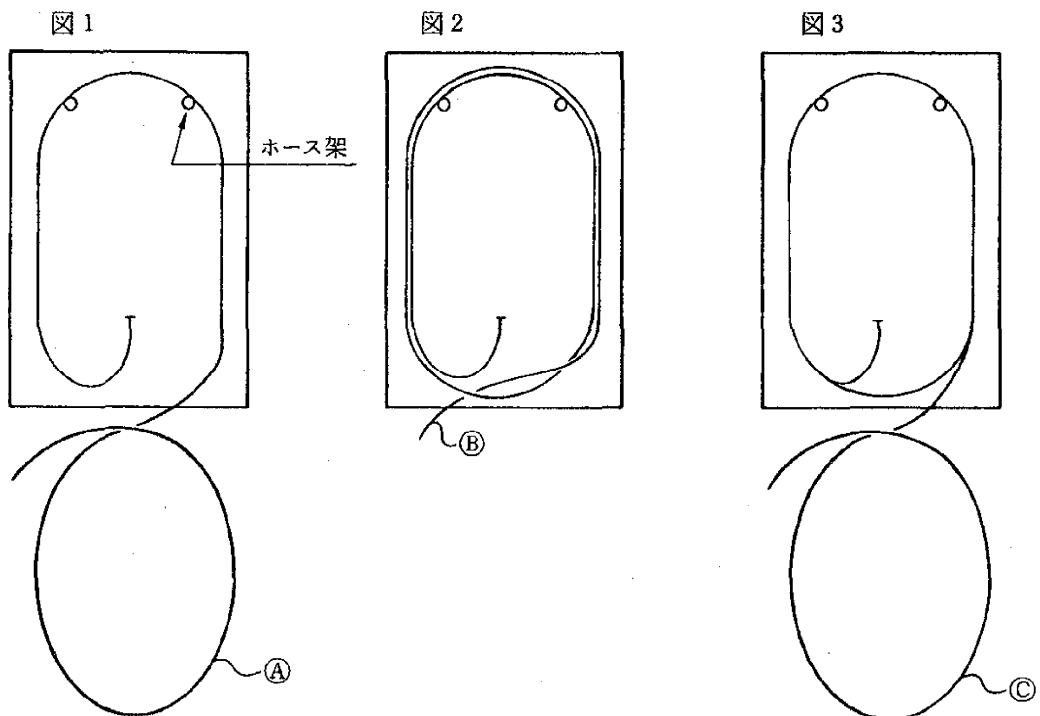
YDA-75CA-K ホースの巻き方

格納箱の中にラック式に巻きます。使用の際ホースがねじれない様、引き伸ばせる巻き方を必要とします。

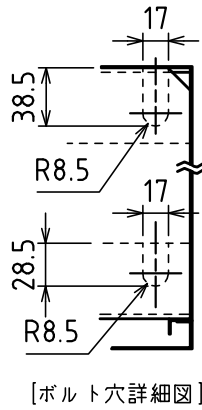
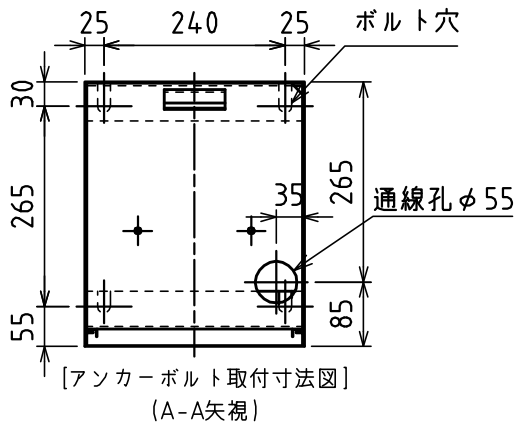
基本として8の字形に巻きます。

巻き方 (8の字巻きの方法)

- (1) 最初の1巻きをホース架にかける。(図1)
- (2) ホースを輪にし (A) 部をホース架にかける。(図1→図2)
- (3) (B) 部をホース架に1巻きかけた後、ホースを輪にし (C) 部をホース架にかける。(図3)
- (4) (3)を繰り返す。

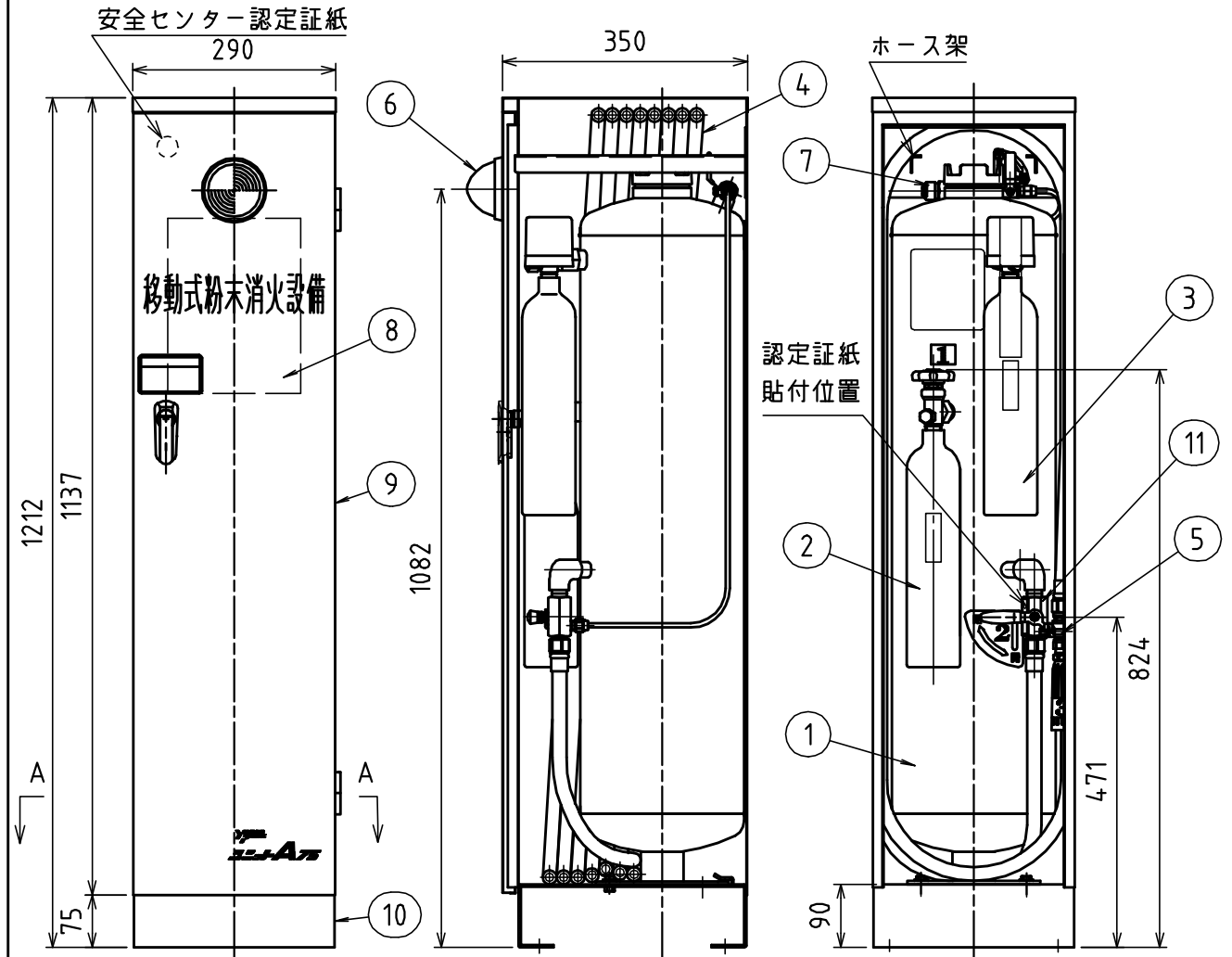


品番	名称	材質	個数	備考
1	粉末貯蔵タンク	SS400	1	ABC薬剤 33kg
2	加圧用ガス容器	STH70	1	内容積 1.0L/660g (CO2)
3	クリーニング用ガス容器	STH70	1	内容積 1.0L/660g (CO2)
4	ホース	塩化ビニル	1	20m
5	ノズル	C3771B	1	クローメット
6	表示灯	ポリカーボネート樹脂	1	
7	安全装置	C3771B	1	設定圧力 3.04MPa
8	操作説明銘板	ポリイソナル	1	
9	格納箱	SECC	1	赤色塗装(日塗工-07-40X) t=1.0
10	受台	SECC	1	赤色塗装(日塗工-07-40X) t=3.2
11	放出弁	C3771B	1	型式認定番号 DV-007号



- ・(財)日本消防設備安全センター認定品
- ・型式記号 YDA-75CB-K
- ・認定番号 C-481号
- ・放射量 29kg/min
- ・有効放射時間 約67秒
- ・放射距離 8~10m
- ・総質量 約85kg

< 危険物施設対応品 >



図番	承認	検図	製図	年月	名称
PC04264				2009.10	移動式粉末消火設備 (CO2) 加圧式
整理No.	アマトプロテック株式会社			YDA-75CA-K型	